

信号変換基板

取扱説明書

接点 RS232C

三菱 LVP-XL30用

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。

入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。

注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内（できるだけ短く）、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

(有)ロジックス

857-0055

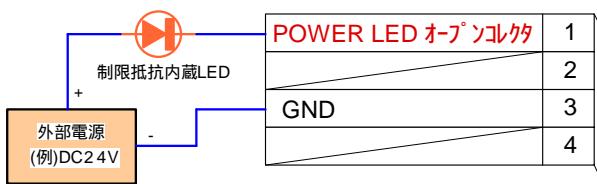
長崎県佐世保市湊町2-15

電話：0956-25-3963

FAX：0956-25-3964

E-mail : logix@lgx.co.jp

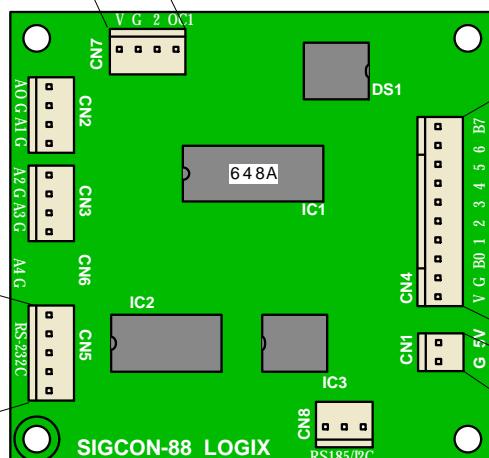
WebPage : www.lgx.co.jp



このVPは電源起動中、クリーリング中のステータスを返しません。VP起動中、クリーリング中にこの基板に電源が供給されたとき、基板はVPの状態を取得することができません。

通常ならタリーの点滅を行うのですが、この場合、起動中はVPオン、クリーリング中はVPオフと判断し、タリーを点灯もしくは消灯します。VPの状態がオンもしくはスタンバイになるまでVP状態をタリーに反映できません。この基板の電源はVP操作中は切らないようにして下さい。もしくはリモコンや本体操作でVP電源操作を行わないで下さい。VPの状態とタリーの関係の同期がとれなくなります。

Tx	1
RX	2
	3
	4
GND	5



1	SW POWER ON/OFF
2	
3	SW INPUT RGB2
4	SW INPUT VIDEO
5	
6	RS-232C TXで使用
7	RS-232C RXで使用
8	
9	GND
10	+5V OUT

1	+5V INPUT
2	GND

CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します
(消費電力: 100mA以下)

CN4 : パラレルコントロール入力

1	SW POWER ON/OFF
2	
3	SW INPUT RGB2
4	SW INPUT VIDEO
5	
6	RS-232C TXで使用
7	RS-232C RXで使用
8	
9	GND
10	+5V OUT

POWERはトグル動作です。

POWER LED の点滅について

- スタートアップ時 3:1のタイミングで点滅
- クリーリング時 1:1のタイミングで点滅
- オン時 オン
- オフ時 オフ

これらの端子をGNDに接続したとき該当するコマンドが出力されます。

CN5 : RS-232C 入力

Tx	1
Rx	2
接続しない	3
接続しない	4
GND	5

